

ランニングタイトル (欄外表題)

偶数ページのヘッダ
MS 明朝, 9pt

表題
MS 明朝,
16pt, 太字

社会情報学部研究論集

投稿原稿執筆要領

副題
MS 明朝,
13pt, 太字

本文
MS 明朝,
10.5pt

研究室名
MS 明朝, 9pt

社情
太郎
社会情報学研究室

著者名
MS 明朝,
12pt

一. はじめに

投稿原稿は、総説、原
訳、書評、資料等及び
章見出し
MS ゴシック,
12pt, 太字

の要旨 (関連学会等における口頭
発表、学会機関誌等に掲載された論文、単行本、翻訳等の要旨) と
し、その種別は投稿者の判断によるものとする。

総説・原著論文・研究ノート等・翻訳における投稿原稿の量 (刷
り上がりページ数) は、表題から欧文要旨、キーワード、図、表、
写真、引用文献等を含め、和文で横書きの場合は A4 版 1 行 45 字、
34 行の 1 段組で 20 ページ以内とする。和文で縦書きの場合は 1 行
30 字、23 行の 2 段組で 20 ページ以内とする。

二. 投稿原稿の書式

原稿は A4 版のカメラレディ原稿とし、B5 版に縮小して印刷する
ため、刷り上がりイメージと同じフォーマットで作成する。英数字
は原則として半角文字にする。2 ページ目以降の、偶数ページのヘ
ッダには著者名を記載し、奇数ページのヘッダにはランニングタイ

トル (欄外表題) を記載する。ただし、ランニングタイトルは和文
40 字、欧文 70 字以内とする。各ページのフッタに通し番号を付す。

1 ページ目の先頭に表題 (副題を含む)、著者名、研究室名、欧文
表題 (欧文副題を含む)、欧文著者名、欧文研究室名を記載する。た
だし、欧文原稿の場合は、欧文表題 (欧文副題を含む)、欧文著者名、
欧文研究室名のみを記載する。原著論文及び研究ノート等には、欧
文研究室名の後に 200 語程度の欧文による要旨を記載し、その後に
キーワードを記載する。キーワードの後に、本文、謝辞、注、Appendix、
引用文献の順に記載する。各項目は当該スタイルを用いて記載する。
例えば、表題・欧文表題は「論集主題」スタイルを、要旨は「論集
要旨本文」スタイルを、本文は「論集本文」スタイルを用いる。
引用文献については、本文中の文献の引用方法、文献リストの書
き方は特に指定しないが、関連学会の慣例に従って行う。引用文献
については、本文中の文献の引用方法、文献リストの書き方は特に
指定しないが、関連学会の慣例に従って行う。

二. 一. 章・節

本文の章、節には「**集章見出し**」スタイルを用いて記載する。本文の章、節には「**節見出し**」スタイルを用いて記載する。本文の章、節には「**論集見出し**」スタイルを用いて記載する。本文の章、節には「**引用文献見出し**」スタイルを用いて記載する。

奇数ページのヘッダ
MS明朝, 9pt

節見出し
MSゴシック, 10.5pt, 太字

引用文献見出し
MSゴシック, 10.5pt, 太字

社情 太郎

「**1.1.1**」のように番号を付け、それぞれ「**論集見出し**」スタイルを用いて記載する。本文の章、節には「**1.1**」のように番号を付け、それぞれ「**論集見出し**」スタイルを用いて記載する。

三. おわりに

A4版のカメラレディ原稿をB5版に縮小して印刷するため、刷り上がりイメージと同じフォーマットで作成する。英数字は原則として半角文字にする。これで終わりである。これで終わりである。これで終わりである。

引用文献

社情太郎、2008。「学会機関誌への投稿規則」、社会情報出版会。社会情報学部研究委員会、2009。「社会情報学部研究報告投稿細則」、群馬大学社会情報学部研究論集、16、30x-31y。

引用文献本文
MS明朝, 10.5pt

二. 二. 図表・数式

図表や写真は本文中の該当箇所に埋め込み、それらの元ファイルを原稿ファイルとは別に提出する。図表には通し番号を付け、表題を付ける。ただし、図の表題は図の下に、表の表題は表の上に付ける。図表には通し番号を付け、表題を付ける。ただし、図の表題は図の下に、表の表題は表の上に付ける。

数式は、式として独立しているものは行を分けて書いてよいが、なるべく簡潔に表現し、添え字が複雑になることを避ける。